

令和7年度板橋区立アートギャラリー指定管理者評価委員会

〈総合評価における指導事項〉

新規申込数が目標値23組に対し実績値11組と、5割を下回っている状況である。継続利用率、利用者満足度、継続利用希望率とも高水準であることに鑑みると、新規申込者獲得が開催率・利用率の向上につながることから、図書館の指定管理業務を幅広く行っている事業者としてのネットワークの強みを生かしながら、新たな方策にも取り組むこと。併せて、現在の目標設定が「アーティストバンクいたばし」の登録者に対する施設使用料助成があった令和3年度・4年度の実績を踏まえたものであることから、現状に即した目標に補正する必要性も検討すること。

板橋区立アートギャラリー改善計画

1) 広報活動の強化、認知度向上

- 閑散期には図書館自主企画事業を実施し、利用促進のための案内チラシを配布する。
- 美術館連携を深め、芸術に興味のある方へ広範囲に情報発信し認知向上を図る。
- アンケート結果（高満足度評価）を SNS で発信し、新規および再利用者を開拓する。
- メディアへの露出に積極的に取り組む。

2) 勧誘拠点増強、強化

利用案内チラシ作成：「成増アートギャラリーをご存知ですか？是非ご利用ください。」

配布拠点：

- 既存利用者
- 指定管理者事業社および板橋区立図書館での掲示
- 美術館、区の施設など美術に関連する活動団体が利用する施設
- 若年層へのアプローチ強化（大学、サークルなど）
- 著名講演者を招聘し幅広い層の告知・配布（令和8年度大規模修繕後、柿落として）

3) 目標値の見直し（下方修正）

新規申込数 令和8年度＝13組、令和9年度＝14組

※令和6年度実績値 11組を踏まえた目標値